

【事業実施概要】

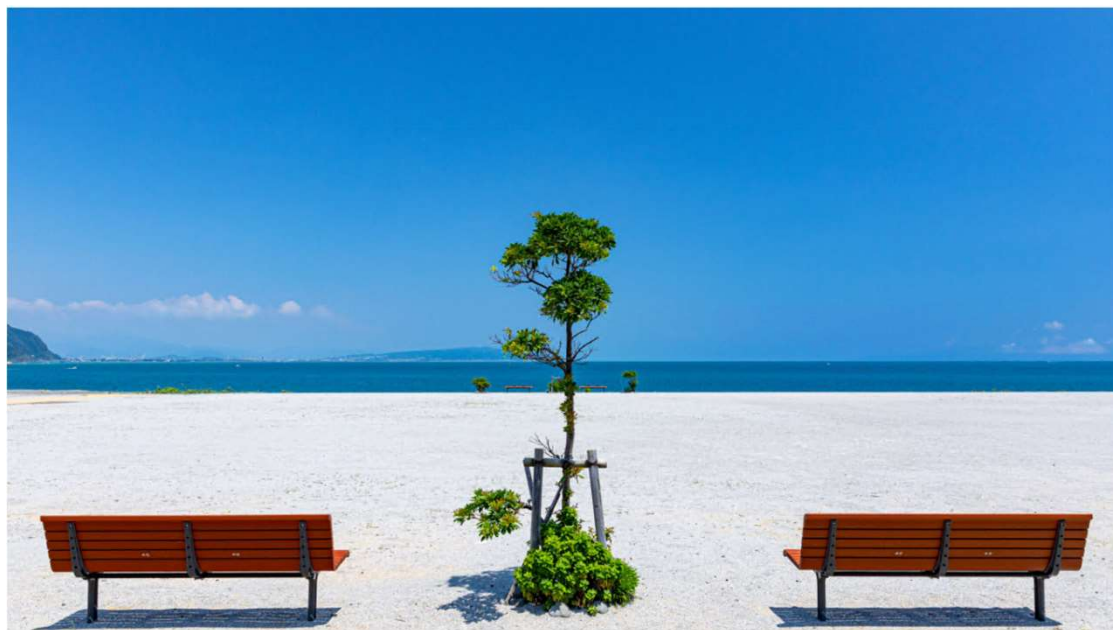
焼津市二地域居住促進コンソーシアム

【構成団体】

静岡県焼津市

株式会社吉村

有限会社アイ・ランド



【事業名】

サブ×ハブ＝ラブYAIZU創出事業

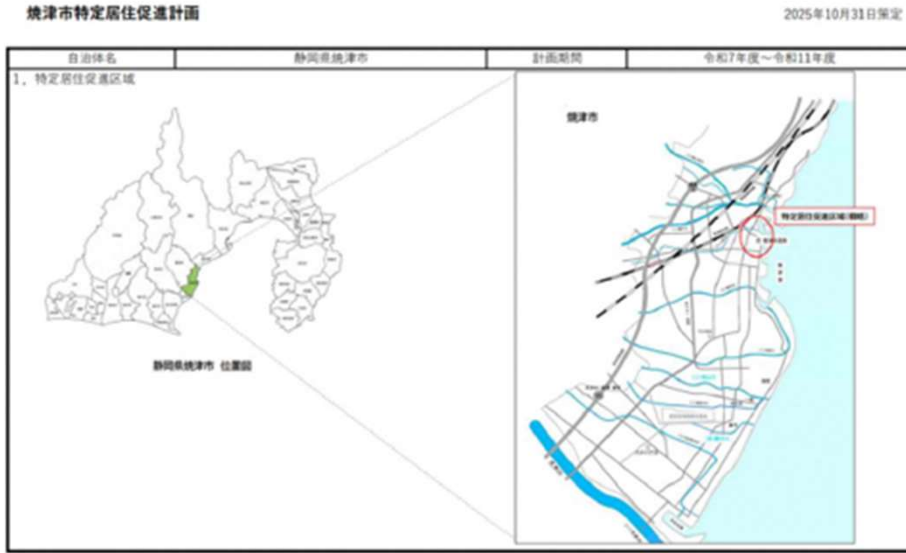
令和8年3月

問合せ先：焼津市政策企画課(原田・大橋)
TEL:054-626-2141
Mail:kikaku@city.yaizu.lg.jp

取組1: 持続可能な体制づくり

特定居住促進計画の策定について

二地域居住推進に向けた持続的な体制を構築するため、二地域居住先導的プロジェクト実装事業コンソーシアムを立ち上げ、特定居住促進協議会の設立・運営を行い、特定居住促進計画の策定、特定居住支援法人の指定といった支援体制を構築しました。



焼津市の特定居住促進区域は、「駅前・駅前通り商店街・内港エリア」と「浜通りエリア」です。

焼津市は、昔ながらの港町としての風情が残り、本市の玄関口であるJR焼津駅からのアクセスの良さ、漁港ならではの食を楽しめる飲食店、焼津温泉の源泉や入浴施設等、二地域居住者を惹きつける多くの地域資源が存在しています。

内港エリアでは、コワーキング、コミュニティ、宿泊機能を有する「焼津PORTERS」の整備を契機に、河路設を核にした各種事業やイベントにより、近年は市外のみならず県外からの新しい人の流れが生まれています。

駅前・駅前通り商店街エリアには、絵本・おもちゃ・遊びを通して多世代交流ができる、体験型子育て支援拠点「ターントゥルこども館」を中心に、子どもから大人まで市内外から多くの人々が訪れています。

浜通りエリアにある、焼津水産館の一人「飯野安次郎」の生家は、まちの歴史を伝える体験型ゲストハウス「庭の宿 帆や」としてリノベーションされ、文化と地域の交流拠点となっています。

焼津市の二地域居住促進は、上記重点を備えるエリアからスタートし、地域資源を活用した地域住民と二地域居住者との繋がりやまちの賑わいを創出する、持続可能な好循環を広げていきます。

特定居住支援法人の指定について

「特定居住支援法人」は特定居住希望者への情報提供や相談対応、イベントの開催や拠点施設等の整備を行うことが期待されます

法人名	法人住所	事務所または営業所の所在地	指定日
株式会社吉村	東京都品川区戸越4丁目7番15号	焼津市越後島408	令和7年12月19日
有限会社アイ・ランド	静岡県焼津市道原699番地の1	同左	令和7年12月26日

得られた成果

- ☑ 産官金地域からなる協議会の立ち上げにより特定居住促進計画を令和7年10月31日に策定
- ☑ 基本方針を『「海」×「チャレンジ」 焼津市の魅力を活かした二地域居住の促進』とし、今後5か年をかけて進めていく市の基本計画を策定されたことにより、協議会委員とともに意思疎通及び二地域居住者に向けチャレンジを後押しする機運醸成が行われた。
- ☑ コンソーシアムである2社を特定居住支援法人に指定し、市の二地域居住の取組を推進の強力的に後押し

取組2: 会社経営者層を対象としたスタディツアーの実証、焼津二地域居住アンバサダーの任命

二地域居住促進のためのスタディツアー実証について

モデル事業の一つとして、「スタディツアー」を実施しました。焼津での生活や事業環境等を紹介し、新たな事業のフィールドとしての焼津市への関心を高めることを目的としています。

■スタディツアー実証事業について

実施期間: 2025年7月～2025年12月

開催回数: 4回

対象者: 中小企業等の会社経営者
(主に都市圏に在住)

内容: 地元企業×地域プレイヤーが連携して生まれた“コーディネート型”ツアー。
「暮らす」「働く」「関わる」全てが混ざり合う、焼津ならではのツアーを開催。



スタディツアーの様子

二地域居住アンバサダーの委嘱について

自ら焼津市を二地域居住等の拠点とした市外出身者で、本市での二地域居住の魅力を広める活動を行っていただきます。

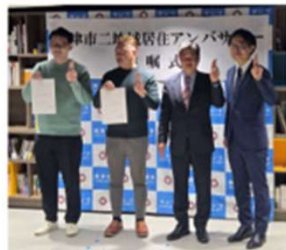
インターネットやSNSを通じた本市での二地域居住の魅力発信や、二地域居住者の視点から市の施策に関する発信などをしていただきます。



山下 和幸さん



寺西 正貴さん



委嘱式後の写真撮影



豊川 咲栄さん

参加者の声

街や企業の課題共有をし、その解決に向けてディスカッションをしたい

サスエ魚屋の前田さんにお会いしてみたいのと、リノベーションして1棟貸しにできるような空き家を見学してみたいです

何か空き家や旅館などの再生プロジェクトなどを一緒にできたら良いなと思っています

観光や視察だけでなく、実際に数日間「住むように滞在」し、朝の市場や商店街を歩いたり、地元スーパーで買い物をしたりと、地域の日常を体感したい

もっと焼津を理解し、自分・自社の為だけでなく街・地域に貢献できるとしたらどの様な可能性があるのかを見出したいです

得られた成果

☑延べ人数51人がスタディツアーに参加、アンバサダー3人就任 (R8.2時点)

☑スタディツアー実施後、参加者の一部の方に本市に再訪いただき、新たなプロジェクト立ち上げや、参加者の既存事業拡充となり、本市との関わりが深化
⇒企業内合宿の実施 (撮影スタジオ等の物件購入も検討)、中小企業コミュニティ合宿の実施、東京で流通するバイクイベントの開催

取組3: 交通費及び宿泊費のポイント・クーポン還元実証事業

ツアー（モニターツアー）中やツアー後のビジネス活動（お試し居住）に係る一時的な交通運賃や滞在費の負担軽減を図るため、交通費と宿泊費に係る費用について負担軽減を図るポイント・クーポン還元実証実験を行い、交通費等の二地域居住に伴う諸費用への支援の在り方を検討を実施しました。また、首都圏にてポイントクーポン還元実証事業にかかる成果報告会を開催しました。

焼津市 二地域居住促進のための交通費・宿泊費負担軽減事業について 別紙 1

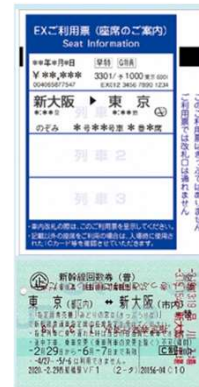
本事業概要・目的
焼津市は、国土交通省のモデル事業「二地域居住先導的プロジェクト実証事業」に選定され、二地域居住を推進しています。モデル事業の一つとして、本事業は「交通費及び宿泊費のポイント・クーポン還元実証事業」となります。二地域居住に関する取組について焼津市へ来訪される方を対象に交通費・宿泊費の負担を軽減することで、焼津での滞在や地域との関わりを促進させ、二地域居住に伴う諸費用への支援の在り方を検討することを目的としています。

対象者
①Local Research Lab in焼津にお申込みいただいた方（本人のみ）
②スタディツアー等、焼津市が二地域居住に関して企画するツアーへ参加された方（本人のみ）

交通費負担軽減事業
実施期間：2025年11月7日～2026年1月31日
【対象区間】
東海道新幹線 東京-静岡 / 品川-静岡 / 新横浜-静岡 / 名古屋-静岡 / 岐阜羽島-静岡 / 米原-静岡 / 京都-静岡 / 新大阪-静岡
【利用期間】
①Local Research Lab in焼津にお申込みいただいた方
現地イベント利用時（2回予定）または焼津市に再訪する時（11月～1月）（上限4回）
②スタディツアー等、焼津市が二地域居住に関して企画するツアーへ参加された方
現地イベント利用時（1回予定）または焼津市に再訪する時（11月～1月）（上限4回）
【内容】
交通費負担軽減事業：ご利用1回（片道）につき、TOKAI STATION POINT 1,100ポイントを支付いたします。
※往復4回（片道8回）計 8,800ポイントが上限となります。
※ツアー参加者ご本人さまの利用分に限ります。（同行者分は対象外）
【利用条件】
TOKAI STATION POINT（トスポ）アプリのダウンロード/申込フォームへの申請及び必要事項をメール/焼津市からのアンケート回答

宿泊費負担軽減事業
実施期間：2025年11月7日～2026年1月31日（1/3泊割分を含む）
【クーポン利用対象宿泊施設】
各施設宿泊よりプランが対象となります。ご注意ください。
くれれたいん 焼津駅前（ビジネスホテル） / やいづマリンパレス（旅館） / CRAFTHOTEL 西沢DOCK（ゲストハウス）
【内容】
宿泊料金の50%割引
※クーポン使用回数はいずれも3回までとなります。
※ツアー参加者ご本人さまの利用分に限ります。（同行者分は対象外）
※入居税、その他追加の飲食費やアメニティ代金は割引の対象外です。
【利用条件】
TOKAI STATION POINT（トスポ）アプリのダウンロード/申込フォームへの申請/焼津市からのアンケート回答 ※宿泊施設の指定のサイトや申込フォームより現地決済で予約をした方のみ

© Central Japan Railway Company All rights reserved. ※事業上断られた場合は終了となりますので、予めご了承ください。



TOKAI STATION POINTを活用した
交通費負担軽減（ポイント還元）

TOKAI STATION POINTを活用した
宿泊費負担軽減（クーポン付与）

成果報告会について

【開催場所】

東京都八重洲口商業施設

【参加者】

ツアー参加者、地域プレイヤー、行政関係者、行政関係者計33名

【内容】

焼津を中心とした6日間の地域探訪ツアーの最終報告会として、1年間の振り返りを実施



地域探訪ツアー
Local Research Lab
in 焼津の様子



成果報告会 in 東京の様子



得られた成果

- ☑延べ人数19人が交通費及び宿泊費のポイント・クーポンを利用
- ☑アンケートでは69.2%（9名/13名）が「頻度に関わらず、目的があれば負担は感じない」と回答
金銭的な補助の有無に関わらず、**焼津に関わる「意味」を重視する層が多数いることが判明。**
- ☑一方で、継続的な来訪を支えるための**物理的な閾値（費用金額、移動にかかる時間）も判明した**

取組4: 小型EVの導入実証実験

日常の暮らしに必要な移動手段を確保し、生活サービス施設へのアクセスの検証を行うことを目的とした、「小型EV導入実証実験」を実施しました。

対象者

焼津市が二地域居住に関して企画するツアーへ参加された方
(運転対象者は本人のみ)

■ 小型EV導入実証実験

実施期間：2025年11月7日～2026年1月31日

【対象車両】

ChoiBull-チョイブル（3人乗り小型EV車両）× 3台

【利用期間】

- ①Local Research Lab in焼津にお申込みいただいた方
現地イベント参加時（2回予定）または焼津市に再訪する時（上限3回）
- ②焼津市が二地域居住に関して企画するツアーへ参加された方
現地イベント参加時（1回予定）または焼津市に再訪する時（上限3回）

【貸出場所】

焼津駅近郊のサテライトキャンパスにて貸出

【内容】

市内に來訪された際の市内移動時において実証的に利用を推奨。

※ 要普通自動車運転免許



小型EV実証実験により市内散策する様子

参加者の声

今後小型EVを街中で利用したいと感じた: 100%
市内の色々な場所で返却できると良い: 75%

小回りが利く: 83%
爽快感が良い: 67%
地域内の移動が便利: 58%
非日常が感じられた: 58%

小型EVで観光ツアーができると良い

得られた成果

- ☑延べ人数32人が小型EV実証事業を利用
- ☑アンケートを実施したところ、満足度100%の結果となり、様々な意見を聴取することができた
- ☑一方で、市内の色々な場所で返却したいというニーズや観光ツアーができると良いといった声も挙がった

コワーキングスペースでの託児サービス実証実験

子育て世帯の二地域居住者が焼津で子育てをしながら仕事を行う際の負担を減らすため、コワーキングスペースでの託児サービス実証実験を行いました。利用者の声を受け、二地域居住に必要な生活サービスの改善に向けた検証を行いました。



託児サービス
イメージ



実証事業にて活用した
コワーキングスペース



実証事業にて利用した
子育て支援施設
ターンクルこども館

■子どもの一時預かり実証実験について

開催回数：2回

(2025年7月・12月のスタディツアー時)

内容：焼津PORTERSのコワーキングスペースに保育士を配置し、スタディツアー中に子どもを預けることで、二地域居住において子育て世帯にイメージをつけていただきました

参加者の声

子どもが大変喜んでいました

安心して預けることができました

「もう一泊！」と言う子どももいました

土日でも子どもを連れていく選択肢が取れありがたかった

もう少し長く預かってもらえるとよかったです

得られた成果

☑満足度は83%と一時預かり実証実験の参加者からは満足度の高いものとなった

☑普段経験できない環境、学び、体験、街の方々との何気ないふれあいが貴重だったと子育て世代ならではの意見を確認

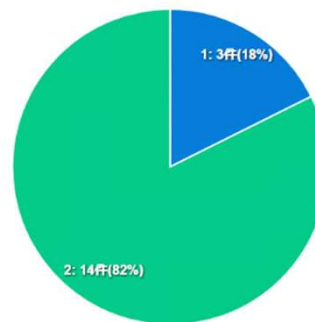
地域貢献型クラウドファンディング (ふるさと納税寄附)の導入について

二地域居住者や二地域居住に賛同する人が焼津市に対してふるさと納税寄附を行い、その寄附額を原資として二地域居住に関する事業や生活環境の整備について検証。協議会にて検討した結果、二地域居住に関するどのような取り組みに地域貢献を募るべきか引き続き検討するとして初年度は導入見送り。一方で、今年度のプログラム参加者に、プログラム参加以後のふるさと納税寄附状況や、地域貢献型クラウドファンディング意向調査のアンケートを実施



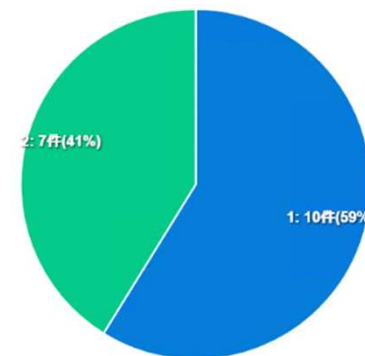
プログラム前後を含め、今年度中に、焼津市へふるさと納税をしましたか？

- 1. はい (する予定)
- 2. いいえ



今後、二地域居住に関して地域貢献型クラウドファンディング(ふるさと納税寄附金等)があれば、寄附したいと思いますか？

- 1. はい
- 2. いいえ



得られた成果

☑二地域居住に関する地域貢献型クラウドファンディングの意向がある方は59%のニーズを確認
☑本事業参加者からふるさと納税寄附額190,000円(アンケート回答による)が新たに寄附され、離れていても焼津を応援したいと考えていただけるきっかけとなった。

取組6:地域コミュニティの関係構築について

地域コミュニティとの関係構築について

二地域居住者や二地域居住を検討している方々と地域住民が交流できる環境を整え、地域コミュニティとの関わりを深めて、確実な二地域居住につながることを検証を実施。二地域居住者に対し地域イベントへの参加を誘導や、地域住民を巻き込んだ交流の場を創出を実施。

■二地域居住者の地域イベントの参加状況

○魚フェス（ととフェス）

内容：

実施期間：2025年11月15日・16日

参加者：ローカルリサーチラボ参加者13名
（当日来場者数40,000名）

○内港にえんがわをつくろう

内容：まちでやりたいことをカタチにする
実験イベント

実施期間：2025年11月23日

参加者：スタディツアー参加者19名
（当日来場者数250名）



魚フェス(ととフェス)



カツオアートの作成



内港にえんがわをつくろう
(社会実験イベント)

■地域住民を巻き込んだ交流の場の創出

○ランチ交流会

内容：多様な方々に集まっていただき、
これからのまちづくりの在り方をランチを交
えながら協議

実施期間：2026年2月15日

参加者：自治会、地域プレーヤー、大学生、
高校生、二地域居住者、
市職員等合計27名



ランチ交流会の様子

参加者の声

満足度：大変満足した59%
満足した32%

⇒91%の方にとって満足度の高い結果

地域活動への意欲：とても向上した45%
向上した55%

⇒参加者100%の方にとって
地域活動への意欲が向上する結果

得られた成果

- ☑地域イベント参加者数は19人（交通・宿泊負担軽減事業参加対象者のうち参加した方）が参加
- ☑二地域居住における事業の取組をきっかけに、二地域居住者や地域を巻き込んだ、ランチ交流会を実施し、自治会や地域プレーヤー、大学生、高校生を巻き込んだ開かれた場を実現

二地域居住先導的プロジェクトにおけるKPIの実績について

KPI指標	実績値
①交通費及び宿泊費のポイント・クーポン還元実証事業参加者数	19人
②小型EV延べ利用者数	32人
③子ども一時預かり満足度(利用者アンケート)	満足度83%
④スタディツアー延べ参加者数	51人
⑤焼津二地域居住アンバサダー認定者数	3人
⑥地域イベント参加者数	19人
⑦ふるさと納税寄附額(地域貢献賛同分)	190,000円

得られた成果

- ☑交通費及び宿泊費のポイント・クーポン還元実証事業参加者数は、当初想定していた参加者が全て利用しない結果となり、KPI実績値としては過小となった。一方で、事業を実施したことにより、金銭的負担以外の支援について探るきっかけとなった。
- ☑スタディツアー参加者については当初想定していた人数より多くの方にご参加いただいたこと、再訪にもつながる方が複数いたことから、二地域居住に関して新たなつながりのきっかけとなった。

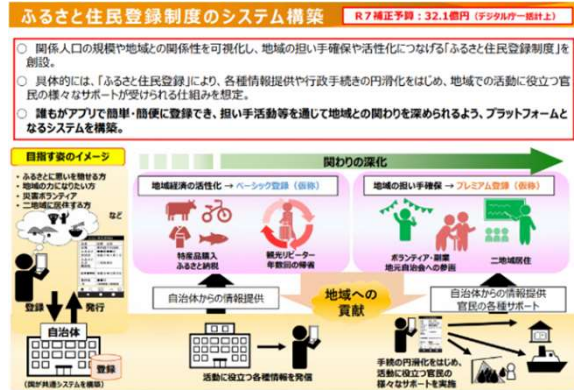
○事業全体の成果や効果

- ☑ 本実証事業を通じて、金銭的な補助の有無に関わらず、焼津に関わる「意味」を重視する層が多数いることが判明し、次年度以降の二地域居住者の獲得や支援に向けた有用な意見を得ることができた。
- ☑ 二地域居住者を受け入れるにあたり、行政や既に活躍する地域プレーヤーを中心に呼び込むだけでなく、地域や地域住民における交流や理解をいただくことが大切
- ☑ 市として関係人口、二地域居住への取組を進め来訪者が増える段階において、来訪する際の相談できる場・気軽に利用できるコミュニティ、お試し居住拠点等、拠点や受け皿が求められる

○今後の予定

「ふるさと住民登録制度」の活用について

焼津市は、総務省で構築予定の「ふるさと住民登録制度」を活用し、地域経済の活性化や地域の担い手確保を目指し、二地域居住の促進を含んだ関係人口の強化を図ります。



引用元：https://www.soumu.go.jp/main_content/001049990.pdf
(総務省HP ふるさと住民登録制度について)

令和8年度当初予算(案) 記者会見資料より抜粋